

16の取り組みを通して、育てたい「心と意識」 学校経営計画 補足資料 R7,4,3

■「安心・安全・信頼がある学校生活」 < 感謝する心と、感謝される気持ちを育てたい >

- 1 いじめ・暴力・体罰を許さない強い姿勢と早期発見早期対応の実践
- 2 学校事故・いじめ被害生徒・不登校生徒への迅速な誠意ある対応
- 3 校内安全管理の徹底と安全指導・避難訓練等の更なる充実
 - (1) 床のゴミ拾い、朝や放課後の教室の点検等の習慣
 - (2) 落書き、物品の破損や紛失、施設の破損等の早期発見早期対応
- 4 「ありがとうの言葉」と「あいさつの習慣」で人間関係の円滑を目指す指導
 - (1) 教職員からの「ありがとう」と「おはよう」
 - (2) 授業開始と終了のあいさつは大切
 - (3) 感謝の言葉で生徒の自己肯定感を高めよう。
- 5 ポジティブな言葉と「なぜ」「どうした」を大切にした指導
 - (1) 「～をしない。するな。」から「～をしよう。」などへ言葉の変換
 - (2) 「何故ダメなのか、何故するのか」の何故を大切に伝える
 - (3) 指導・注意や返答する前に生徒の意見を問い、考えを言語かさせる指導
- 6 ぶれない、変わらない指導を大切にしよう。
 - (1) 基本的な指導は学校学年で統一、学年セクトなしで指導
 - (2) 学年・学級経営方針をしっかりと立て、1年間を通じて実施する。
 - (3) 「学級や授業での約束事」の実践、当たり前を褒める
 - (4) 学級学年で目立たない生徒たちこそ大切に

■「豊かな心と体の育成（自己実現を図る指導）」 < 自他の発言・意見を大切にできる心を育てたい >

- 7 即答しないで、質問返しや理由を尋ねる会話を意識する
- 8 相手の話をきちんと聴き、自分の意見をしっかり表現する態度を育成する取組
 - (1) 話し方の基本 挙手、発言、みんなに聞こえる声でわかりやすく等
 - (2) 聞き方の基本 「私語はしない、横向かない」から「発言者を見る、耳を傾ける」の指導
- 9 道徳の充実のための取組
- 10 生徒が主役となる場面をたくさん作ろう
 - (1) 学級委員やリーダーの声かけの場面（集会等）を増やす
 - (2) 生徒に任せて放って置くのはダメ、リーダーが孤立しない支援が必要
 - (3) 生徒会活動の充実 行事の実行委員会の充実
- 11 総合的な学習やキャリア教育の充実

■「確かな学力の定着（授業の質的充実）」 < 共に学ぶ心を育てたい >

- 12 日頃から、間違いや失敗、できないこと、個性を認める人間関係の育成が大切
- 13 清瀬五中で共通した「授業スタイル」を目指そう
 - (1) その時間で身につけるべき力を明確にしたまとまりある授業
 - (2) 主体的・対話的で深い学びのある授業
 - ・協働的学び・対話的学びを意図的に取り入れた授業や学級指導等を意識して実践
 - ・他者への説明、意見発表、議論、教え合い等アウトプットを重視した教科授業
 - ・生徒による運営（司会や説明、声かけ等）する場面の工夫
- 14 授業時数・授業内容の管理

■「開かれた学校と家庭・地域との連携の推進」 < 社会の中で生きていることの意識を育てたい >

- 15 小中連携の充実と地域に根差した教育の意識を大切にしよう
- 16 便りやHPの情報発信により、地域に信頼され、開かれた透明性ある学校づくり

R7 学校スローガン 「笑顔とあいさつそしてありがとう」